

単元名

わたしの思い描く人間関係とは
～人物の関係を、関係図にまとめよう～

「風切るつばさ」(東京書籍)

平成29年6月22日
男子11人 女子16人
計27人

本単元で育成する資質・能力

論理的思考力・判断力・表現力/知識・情報/協働する力(資質・能力ルーブリックレベルⅣ)

1 単元について

I:【考え・基礎知識】

登場人物の相互関係や心情、場面についての描写を捉える。

C:【つながり】

登場人物の相互関係について、複数の根拠を基に、人物関係図にまとめる。

E:【応用・ひろがり】

自分の周りの人間関係について考え、思い描く人物関係をまとめる。

児童の実態

- ★○ 文学的な文章については、文章を文字通り理解することはできるが、複数の根拠を関連付けて解釈するまでには至っていない。 —①
- ★○ グループでの話し合い活動において、お互いに意見を伝え合い、自分の考えを広げることができているが、グループ内の意見をより精選したものに収束させることが十分でない。また、自分の考えを適切に表現するために必要な語彙数は十分でない。 —②
- 平成29年度全国学力・学習状況調査国語B3「物語を読み、叙述を基に自分の考えをまとめる」設問では、物語全体に広がっている複数の叙述を関係付けて読み取ったり、象徴性や暗示性の高い表現や内容に気付いたりすることに課題があった。 —③

育成を目指す資質・能力と目標 ★【資質・能力】 ○【国語科】○【国語科重点目標】

- ★ 複数の事柄や資料などを関連付け、整理したり再構成したりして、適切に表現することができる。 【論理的思考力・判断力・表現力 ルーブリック レベルⅣ】
- ★ 異なる意見や考えを受け入れながら、課題を解決することができる。 【協働する力 ルーブリック レベルⅣ】
- 目的に応じ、内容を捉え、自分の考えを明確にしながら、文章を読もうとする。 【国語への関心・意欲・態度】
- 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。 【読むこと エ】
- 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。 【読むこと オ】
- 文章の中での語句と語句との関係を理解することができる。 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(オ)】

教材について

- 中心となる登場人物の心情が他の人物との関係によって大きく変容する物語である。心内語が多く、心情の変化が捉えやすい。
→ 人物相互の関係を手がかりに中心人物の心情の変化を読み取ることができる。
- 比喩、象徴する言葉などの表現の工夫がある。
→ 文章表現の効果を読み取ることができる。
- 「友情」をテーマとした作品であり、孤独感や自己嫌悪等児童が共感しやすい心情が描かれている。
→ 日常の身近な人間関係に関連付けて考えることができる。

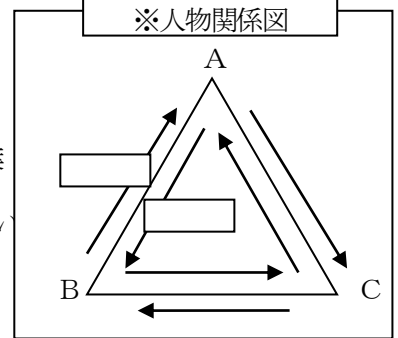
パフォーマンス課題とその特徴

現在の学校、地域や家庭での自分を振り返り、今後の人間関係をどのように築いていけばよいか考える特別活動と関連付けて、「人物の関係を、根拠を基に関係図にまとめる」という活動を設定する。文学的な文章において登場人物の相互関係や心情、場面に係る描写について捉え、人物関係図にまとめる活動を取り入れる。これによって、文章を繰り返し読み、登場人物の相互関係や内面にある深い心情も合わせて捉え解釈することができる。また、個人で考えたものをグループでより精選していく探究的な学習過程において、本単元で付けたい資質・能力を確実に育成できると考える。

指導のポイント

- ①③ 人物の関係を表す言葉を考える際には、自分が気付いた根拠と友達が気付いた根拠を関連付けて考えたり、自分が気付かない根拠に気付いたりするように根拠を明確に班で話し合いを行う。
- ② 自分の解釈を表現するに際し、人物の関係を関係図に表わし、教材文以外の言葉を使ってまとめさせる。辞書や類語検索辞典(シソーラス)を活用し、自分の考えをまとめるための手立てとする。班の話し合いで、より適切な言葉へと収束していくための交流になるようにする。また、人間関係について深く読むことができるよう、関係図の中の言葉を二字熟語で考えるよう指定する。

※ 人物関係図は、三角形で双方向の矢印があり、関係を言葉で表すものとする。



2 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ 人物関係図にまとめるという目的に応じ、文章の内容を捉え、友達のを受け入れながら自分の考えをもって文章を読もうとしている。 ★協働する力	○ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、複数の根拠を関連付けて人物関係図にまとめている。(エ)★論理的思考力・判断力・表現力 ○ 物語を読んで考えたことを文章にまとめ、友達と発表し合うことで、自分の考えを広げたり深めたりしている。(オ) ★論理的思考力・判断力・表現力	○ 文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。 イ(オ) ★知識・情報

3 単元の計画 (全5時間)

次	時	学習内容	評 価		
			関	読	言
単元前		(学級活動) 課題の設定 (特) ・ 運動会後の振り返りから、【自分・6年生・原小児童】【自分・家族・地域】の現在の人間関係図を考える。 学校や地域、家庭でどんな人間関係を築いていけばよいか			○教科の評価規準 (評価方法) ★資質・能力の評価規準 (評価方法)
					運動会では、最高学年として自分たちの本気の力を発揮できたね。地域や他の学年はどう思っているのかな。 僕たちのことを、慕ってくれている低学年はかわいい存在だな。 関係が薄い部分もあるな。これから卒業までに目指したい人間関係はどんなものだろうか。
第一次	1	課題の設定 (国) 登場人物の関係について、人物関係図にまとめよう ・ 学習のゴールイメージをもち、学習計画を立てる。 ・ 教材文における「など」を出し合う。	○		○ 登場人物の関係に興味をもち、物語を読もうとしている。(ノート・児童観察)
	2	情報の収集 整理・分析 ・ 第一・二場面の「クルル」と「カララ」・「群れみんな」の関係を人物関係図にまとめる。(個人→グループ→全体)	◎	○	○★ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、複数の根拠を関連付けて人物関係図にまとめている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(人物関係図・児童観察) ○★ 文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。【知識・情報】(人物関係図)
第二次	3	・ 第三・四場面の「クルル」と「カララ」・「群れみんな」の関係を人物関係図にまとめる。(個人)	◎	○	○★ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、複数の根拠を関連付けて人物関係図にまとめている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(人物関係図・児童観察) ○★ 文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。【知識・情報】(人物関係図)
	4	まとめ・創造・表現 ・ 第四場面の「クルル」と「カララ」・「群れみんな」の関係について、交流し、自分の考えをまとめる。 【本時】	◎	○	○★ 物語を読んで考えたことをまとめ、友達と発表し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりしている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(ノート・児童観察) ○★ 文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。【知識・情報】(人物関係図)
第三次	5	実行 (国) 振り返り ・ 物語を読んで考えたことを基に、自分の思い描く人間関係についての考えをまとめ、交流する。 ・ 「原っ子マイスターカード」の「論理的思考力・判断力・表現力」「協働する力」の視点により振り返りを書く。	○	○	○★ 物語を読んで考えたことを基に、自分の思い描く人間関係についてまとめ、友達と発表し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりしている。 【論理的思考力・判断力・表現力】(ノート・児童観察) ○★ 友達の考えを受け入れながら自分の考えをもって文章を読もうとしている。【協働する力】(振り返り)
単元後		実行 (特) (総) (学級活動) (総合的な学習の時間) ・ 【自分・6年生・原小児童】【自分・家族・地域】の思い描く関係を基に、自分達に何ができるかを考えて活動する。			自分は、友達や原小学校の低学年に信頼される関係を築きたいな。 家族には感謝の気持ちを忘れないようにしたいし、言葉でも伝えていきたい。 地域との関係をもっと深いものにしていきたいな。去年まちづくりのイベントをした6年生は地域に対して、どのような思いをもっているのだろうか。

4 本時の展開 (本時 4/5)

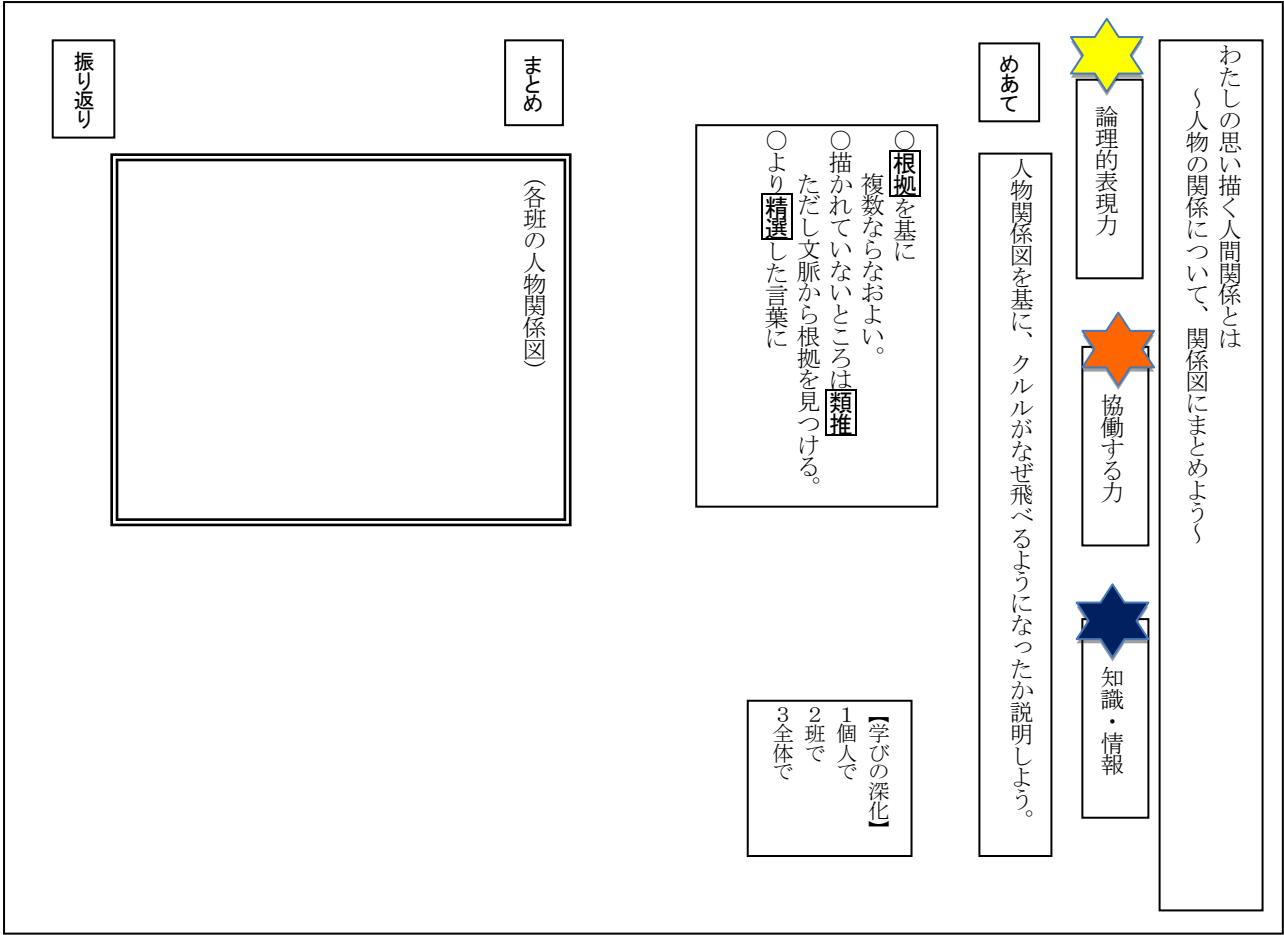
(1) 本時の目標

- ★ 物語を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを深めたり広げたりすることができる。
【国語科/読むこと オ】【資質・能力/論理的思考力・判断力・表現力】
- ★ 文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読むことができる。
【国語科 言語についての知識・理解・技能】【資質・能力/知識・情報】

(2) 本時の展開

	学習活動	◇指導上の留意点 ◆「努力を要する」状況と判断した児童への手立て	評価規準 (評価方法) ○教科の指導事項 ★資質・能力
課題の設定	1 本時のめあてを確認する。	◇ 前時の学習を生かして、第四場面の人物関係図を作るという見通しをもたせる。 第四場面の人物関係図を基に、クルルがなぜ飛べるようになったのかを説明しよう。	
情報の収集	2 第三場面と第四場面を音読する。 3 人物関係図を班で話し合っ て作成する。 視点 ○ 根拠に基づく (複数ならなおよい) ○ 文脈から類推 ○ より精選した	◇ 第三場面からの変化を考えながら読むようにする。 ◇ 個人の考えを根拠を基に交流し、班でよりよいものになるように考え、ホワイトボードにまとめさせる。 ◆ 「人物関係を表す言葉の手引き」や辞書、類語辞典等を活用して考えさせる。 ◇ 特に、「群れのみんな」についての叙述は少ないため、三場面までからの過程から、類推して考えられるようにする。 ◆ 自分の考えがもてない場合には、友達の考えを聞いて、よりよいものを選んでよいことを伝える。 ◇ 自分の班の考えとの共通点や相違点に着目し、根拠を基に各班が選択した言葉のよさについて伝え合う。	三場面では、クルルが絶望して飛べなくなったのだね。 クルルはどうして飛べるようになったのかという「なぜ」を解明したいな。 ○○さんは、なぜ人物関係図に□□という言葉を使ったのかな。理由が知りたいな。 自分の班では見つけれなかった根拠を基に、よりよい言葉でまとめられているね。
整理・分析	4 班で作成した人物関係図について、全体で交流する。		
まとめ	5 本時のまとめをする。 【まとめの例】	◇ 全体交流を聞き、人物関係図を基に自分の考えを書く。	○★ 文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解し適切な言葉で表現している。(人物関係図) ○★ 物語を読んで考えたことをまとめ、友達と発表し合うことで、自分の考えを深めたり広めたりしている。(ノート・児童観察)
	<p>私は、カララからクルルへの矢印に何という言葉を入れてよいか分からなかったけど、友達の考えを聞くと、クルルの心が少しずつ解けていったのは、カララがクルルに対して信頼の気持ちを寄っているからだと思っ た。カララがクルルに寄り添う過程で、クルルは飛べるようになったのだと思う。</p>		
振り返り	6 本時を振り返り、次時への見通しをもつ。 【振り返りの例】	◇ 「人物関係図」に整理することのよさや自分の思い描く人間関係に生かしたいことという視点で振り返らせる。	友達の選んだ言葉は、この場面の人物関係を表すのに、ぴったりだと思ったよ。
	人物関係図に整理することで、物語を深く読むことができた。今自分が読んでいる他の物語でも関係図を使って読んでみたい。 クルルとカララのような信頼関係のある友情を築いていきたい。自分の思い描く関係図にも信頼という言葉を入れたい。		

5 板書計画



6 資質・能力ルーブリック

論理的思考力・判断力・表現力	判断基準
A	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の知識と体験などと関連付けて自分の考えをもっている。
B	物語を読んで考えたことをまとめ、友達と発表し合うことで、自分の考えを深めたり広げたりしている。

知識・情報	判断基準
A	事象や行為・心情などを表す多様な語句について理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしながら読んでいる。
B	文章を特徴付ける語句に気付き、語句と語句との関係を理解して読んでいる。